

季節の変わり目、「リズム」を大事に！

朝晩、冷え込む日が多くなり、背中を丸めて歩く子どもも多くなってきました。しかし、勉強や運動をするにはもってこいの季節ともいえませぬ。大休憩には、今まで体育館で柔軟体操をしたりスキップやサイドステップなど様々な走り方をしたりしてきました。先日からは、マラソンを始めています。それも、ただ走るのではなく、グラウンド三週を何分何秒で走るかという記録をとって走っています。子ども達が一斉に目標をもって走るのでみんな真剣な顔で走ります。とても、リズムよく運動している様子が伝わってきます。

今週の火曜日の全校朝会では、毎朝決まったように七時四十分頃西門を入ってくる子ども達のことを紹介しました。これもリズムよく生活していることの証です。

逆にリズムが悪くなるやどうなるかという例も紹介しました。「今から言いつ言葉で何を想像しますか。想像できたら手を挙げて下さい。」と話し、「じ」「ん」「ん」「ん……」と言いかけると、子ども何人かが、「シロクマ」と言いました。そこで、私は続けて、「ま」というと、確信したような顔。しかし、また続けて「る」と言いつ、「あれっっ」「何だろっっ」という顔に。そして、とんとん続けて「ら」「も」「の」とつなげました。そうなんです。しろくまの「も」で想像するものを言ってほしかったのです。すると、やっと納得したよう「雪だるまの上の部分。」などという声が挙がりました。最後に、「ゆっくりゆっくり」文字ずつ言っても、意味が伝わらないことがあるのです。だから、本を読むときでも、ある程度のリズム感のあるテキストのよい読み方をしなくてはいけないんだよと話しました。

話を生活に戻しますが、だんだんと寒くなる季節です。次の行動に移るのに時間がかかることも多いと思います。そんなときこそ、「やる気スイッチ」を入れる大人の出番かもしれません。怒らず、楽しい雰囲気をつくりながら「やる気スイッチ」を入れることができるか。大人が子どもたちの姿から学び、成長する時かもしれませんね。

ひまわり二十二年の「学習発表会」。「子ども達が、「リズムよく」保護者・地域の方の前で演技します。何卒、大勢の方にご覧いただけますよう、よろしくお願いたします。